

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

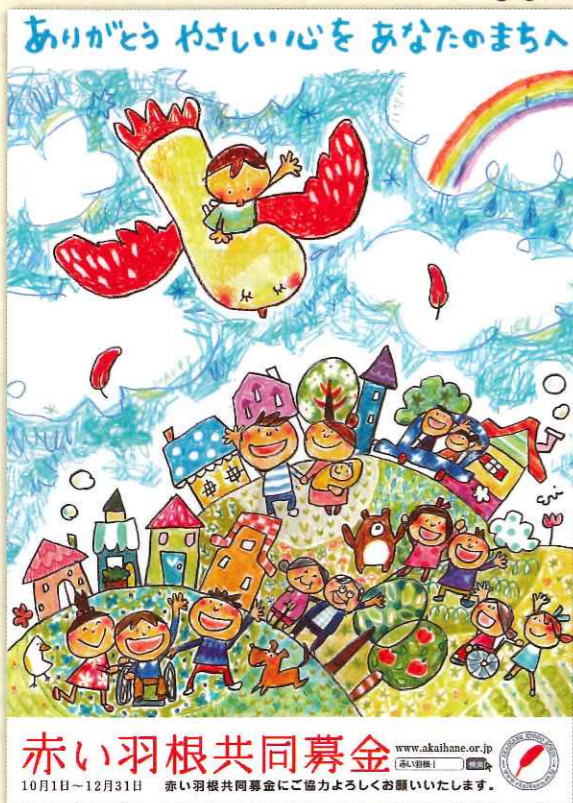
●発行 / 社会福祉法人 神戸市長田区社会福祉協議会 ☎078-511-4277(代) FAX078-574-2427
●〒653-0016 神戸市長田区北町 3-4-3 長田区総合庁舎内 4F
●ホームページ http://www.nagatavc.org/ E-mail : n-syakyou@neo.famille.ne.jp



それいけ ながた

No.29 平成26年10月号

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!



赤い羽根共同募金
10月1日▶12月31日
問い合わせ先
社会福祉法人兵庫県共同募金会
神戸市長田区共同募金委員会
〒653-0016 神戸市長田区北町 3-4-3
TEL 511-4277



今年も10月1日より「やさしさが必ずとどく 赤い羽根」のスローガンのもと全国一斉に共同募金が始まります。みなさん一人ひとりの募金が集まって、「児童・青少年」「障がい児・者」「高齢者」「福祉教育やボランティア活動支援」のための事業等に使われています。また長田区で集めた募金の一部は、全国の災害のボランティア活動支援にも役立っています。

平成26年度赤い羽根共同募金運動が始まります。

募金方法には

- 企業、職場での赤い羽根募金への参加**
①事務所や店頭で募金箱を設置する。
②企業として寄付をする。(税法上の優遇措置があります)
③募金付自動販売機の設置。(自動販売機の売り上げの5%を寄付) 昨年は多くの事業所のみならず募金箱設置にご協力いただきました。今年も設置してくださる事業所を募集しております。
- インターネット寄付**
クレジットカードやネットバンク・コンビニでも寄付することができます。詳しくは、<http://www.akaihane.or.jp/donate/donation/donation01.html#aki>をご覧ください。
- グッズ募金**
スルッとKANSAI、図書カード、クオカードなどのオリジナルペイカードを活用した募金です。
- 学校募金**
各学校を通して、幼稚園・小学校・中学校・高校の児童・生徒のみなさんに募金を呼びかけます。
- 戸別・法人募金**
お近くの共同募金運動ボランティアがご家庭や会社、商店街等をお訪ねして募金を呼びかけます。
- 街頭募金**
街かどでみなさんに募金を呼びかけます。子ども会・中学生・高校生のみならずも協力しています。

よーせて! ひろば

長田区社会福祉協議会では、子ども子育てサポート事業として、夏休み中の乳幼児の居場所づくりを実施しています。この事業では、地域の高齢者施設等に「出前児童館」を開催し親子のふれあい遊び事業や高齢者とのふれあい事業を開催します。今年も講師の先生の楽しいふれあい遊びや地域子育て応援プラザ、こども保健係の協力のもと140名の親子の参加があり、80名のスタッフが支えてくれました。特に、主任児童委員連絡会の皆さんには、積極的な乳幼児の託児等のお手伝いや若い保護者の悩み相談等を担っていただきました。本当にありがとうございました。

高齢者無料マッサージ奉仕事業を実施いたしました

平成26年6月13日(金)丸山コミュニティセンターにおいて、長田視力障害者福祉協会・長田鍼灸マッサージ師協会・丸山ふれあいのまちづくり協議会の協力により、地域にお住まいの高齢者を対象にマッサージ奉仕事業を実施しました。マッサージを受けた後は、「本当に気持ち良かった」とおっしゃられる方が多数おられ、皆様大変満足された様子でした。

成年後見制度 事前相談室のご案内

成年後見制度のしくみや、利用手続きの流れについてお応えする、相談窓口を開設しています。

無料相談 毎月第4金曜日 13時30分~15時30分
(先着順・事前予約必要なし)
長田区役所3階 長田区役所行政相談室

相談受付は区役所 4階 社会福祉協議会です

※当相談室は長田区役所にお越しいただける方への「成年後見制度や手続きのご案内」に限定しています。

【実施】神戸市成年後見センター
【協力】長田区社会福祉協議会

**長田区善意銀行にご寄付いただきました
ありがとうございました**
(平成26年3月~平成26年8月)

神戸市生活指導研究会、母里賢雄、神戸市少年団野球リーグ長田地区委員会、三和エンジニアリング(株)、三ツ星ベルトふれあい協議会、真陽ふれあいのまちづくり協議会、ピオフェルミン製薬(株)有志一同、長田高校PTA会長 山口隆英、西神戸モラロジー事務所女性クラブ、有限会社宮前写真場、みすがふれあいのまちづくり協議会 中川佳子、こども育て長田ネットワーク、神戸保育園、駒ヶ林青少協、駒ヶ林小学校夏祭り実行委員会、青少協室内支部・御蔵小学校校区盆踊り実行委員会、ののよもぎ、コアラクラブ、(株)マルハン、眞木崇江、匿名(順不同、敬称略)

皆さまの温かい善意に感謝いたします。

編集後記

ようやく秋の気配がしてまいりました。今年は各地で集中豪雨に見舞われ異常気象の夏でした。この夏に長田ボランティアセンターの一員となって1ヶ月。"それいけながた"の編集を通して少しずつ長田の良さがわかってきました。これからさらに良いまちになるように取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

E.O

善意の輪 数珠つなぎ

今年の夏は冷夏の予想がはずれ、天候が不順で蒸し暑い日が続きました。皆さんお元気でしょうか。

また集中豪雨が各地であり、広島市では大惨事となりました。兵庫県丹波市でも洪水が発生し、長田ボランティアセンターでも復旧支援活動に参加しました。

夏と言えば、夏祭りが各地で行われています。夏祭りの起源は盂蘭盆会、七夕、祇園祭などが終んだものとか周辺行事であるものが多いと言われていました。

夏祭り中で行われものとして多いのが盆踊りです。盆踊りは盆の時期に死者を供養するため踊りがなされ、歴史的には地域の娯楽と結束を強めるものです。全国的に催され炭坑節、東京音頭など有名な楽曲があります。

長田区でも夏祭りとして、婦人会、自治会、ふれあいまちづくり協議会などが主催して名称は七夕まつり、なつまつり、盆踊りなどいろいろですが、地域で開催されます。太鼓の音、浴衣姿での踊り、屋台など皆さんで運営し、皆さんで参加する楽しい行事です。特に長田音頭に見られるように盆踊りが各地域で盛んに行われます。長田神社を中心として歴史ある区として、夏祭りは地域づくりに貢献し、長田区の数ある風物詩の大きいものと言えるでしょう。

長田区社会福祉協議会もこのような祭りにできる限り参加して地域の方と交流を深め、普段の活動に活かしていきたいと思っています。

ただ、今年は台風、一時的な豪雨で祭りが中止になったところが多かったので、準備された方、参加を楽しみにしていた方、今年は文字通り「寂しい夏」になったのではないのでしょうか。

ちなみに長田区社会福祉協議会主催の子どもむけイベント「きもだめし」も雨で中止になりました。非常に残念でした。[来年こそ夏には晴天が続きますように]と祈っています。

長田区わくわく☆おたのしみ会



長田区内には10児童館3学童保育コーナーがあります。児童館では、乳幼児の子育て支援として「すこやかくらぶ」を実施し、開始以来27年を経過するなか、親育ちを促す活動内容を充実させています。長田区わくわく☆おたのしみ会では、100組の親子が参加し、長田区役所で生涯学習サポートセンターのえのちゃんこと「榎本秀樹さん」をゲストに楽しい遊びのプログラムを開催しました。

また、この事業の開催は平成11年に故芝田カナエ様の御遺志をご遺族が継ぎ、本会にご寄附頂いた「芝田カナエ基金」で実施しました。
※本基金は、平成26年度も引き続き「震災・交通遺児等への支援」や「民間児童福祉施設への助成」、「絵本交換市場の運営」、「保育所・保育園の5歳児交流」、「児童館合同事業による就園前の幼児親子の交流」等、区内の子どもの福祉に役立たせて頂いております。

みんなの福祉講演会のお知らせ

阪神淡路大震災 20 年事業
フシギな音曲 デンキ紙芝居 「森のあるきかた after311」

11月29日(土)14時から兵庫県立文化体育館で実施します。
出演は、長田区在住の総合工作芸術家の「だるま森+えりこ」さんです。



だるま森アートの映像とフシギな楽器・人形を使ってお届けします。
※こども向け作品として、12月10日(水)15時30分より、神戸市立細田児童館(拠点児童館)において、「音曲人形芝居〜きつねべんとう」を上演します。
長田区社会福祉協議会は、長田区内の児童館の運営支援をしています。

ルームの活動 あれこれ

「のぞみあんしんすこやかルーム」は、丸山東住宅の一室にあります。毎月第1木曜日にふれあい喫茶を行っています。月に1度のこの日を楽しみにしてください。20名ちかくの方の参加があります。コーヒーを飲みながら、お話を花を咲かせて交流を深めています。他に、毎月第2月曜日と第4土曜日には唄好きの方が集まりカラオケを開催しています。10名ほどの参加があり、本格的な機械を使っただけのカラオケも好評です。それと、3カ月に1度たこ焼きパーティーをしています。この日は20名を超える参加があります。いつも「今度は何をする?」「おいしかった〜」「久しぶりに食べた」と喜ばれています。いままでは住宅の方だけの参加でしたが、最近では一戸建ての方からの参加があり地域の親睦と交流の場となっています。これからも地域の高齢者の方達が笑顔になれる活動に取り組んでいきたいと思っております。



子ども手話

7月29日、ピフレホールで長田区聴力言語障害者福祉協会の皆様のご協力のもと「こども手話講座」が開催されました。区内より27名の小学生が申し込みをされ、「おはよう」「ありがとう」など簡単な日常の言葉を手話で学びました。また、耳のご不自由な皆さんと一緒にグループディスカッションをしたり、ジェスチャーゲームをするころには、みんな仲良く手話でおはなしていました。
2時間の講座の最後には、神戸市のあいさつソング「ほら、つながった」を大人も子どもも一緒に手話で歌い、夏休みの貴重な体験ができたようです。

あそびにおいてよ! 児童館

その⑫ 細田児童館

細田児童館はJR新長田・山陽西代駅より徒歩5分という便利な場所にあります。
今年度は、長田区の拠点児童館に指定され、乳幼児親子や学齢期の保護者を対象に子育て講座を実施したり、シニアを対象にサポーターを育成し、シッターとして活動しています。
「赤ちゃん講座」や「1歳半講座」は、歌や手あそびのプログラムに加えグループディスカッションなど保護者で子育てについて学び合う時間となりました。
学齢期の保護者を対象にした「探してみよう! 親子の新しいコミュニケーション」では、倉石哲也先生の講義を受け親子のコミュニケーションについて考えます。
当館は、拠点館事業だけでなく多様な年齢を対象にした事業を展開し地域の子育ての拠点として愛していただけの児童館をめざしております。ぜひ、一度細田児童館におこしください。



長田ボランティアセンターだより

子どもいちば

長田橋の上に明るく大きな声が響く「子どもいちば」が今年も開催されます。障がいをもつ方々が働く作業所でものづくりについて学び、地域の商店主から販売の秘訣について教えてもらい、小学生が自分たちでつくったチラシや看板などで宣伝・販売をします。

今年には区内3校の小学校が参加しますので是非お越しください。

10月24日(金)	室内小学校	※時間はいずれも 10時~14時です。
11月27日(木)	長田小学校	
1月22日(木)	宮川小学校	

長田中央市場前・長田橋上にて開催!

「ながた災害ボランティアバンク」に登録しませんか?

今夏は日本各地で自然災害による被害が多く見られました。被災地には全国からボランティアが集まり、復旧支援活動にあっています。長田においては阪神淡路大震災で被害を受けましたが、やはり全国から温かい支援で「元気」をもらった経験があります。

長田ボランティアセンターでは災害の支援で「力になりたい」ボランティアのための「ながた災害ボランティアバンク」の登録を行っています。近畿圏内の被災地にボランティアをスピーディに送りこむために、ボランティア活動情報を登録者に配信します。

また登録者を対象に災害から身を守り活動するにあたって知っておきたい知識やノウハウが身に付く講習も実施しています。



ボランティアバス

8月16日からの集中豪雨で起きた土砂災害で大きな被害を受けた、丹波市市島町でながた災害ボランティアバンクのボランティア10名が復旧支援活動に参加しました。

被害が出てから1週間後の8月24日(日)早朝から神戸市社会福祉協議会が運行するボランティアバスに乗って、市島町の災害ボランティアセンターに向かいました。被災地の民家では、泥掻きや床掃除、土砂運搬など住民の方々が早く普通の生活に戻れるように総勢45名のボランティアが力を合わせて夕方まで活動しました。残念ながら途中で警報が発令され作業を中断し、神戸に戻ることとなりましたが、町の方からは感謝のお言葉をいただきました。今後も甚大災害が起きた際には参加者を募集し、被災地へのボランティア活動を行う予定にしています。活動してみたい方は「災害ボランティアバンク」への登録をお願いします!



一七市拡大版 2014 (福祉フェアの開催)

「あの日の思いやりの心」を忘れぬために
~長田から東北へ、みんなの心を届けよう~

11月16日(日)10時~15時 鉄人広場にて

「あの日1月17日の思いやりの心」を忘れぬためにと、震災から毎年、一七市の拡大版を開催しています。最初は小規模作業所を中心に開催されたこのバザーも、今年で20回目を迎えます。回を重ねる毎に仲間の輪が広がり、今では沢山のボランティアと地域の方々も一緒になって、みんなが同じ思いで参加されています。

今年も各種屋台や、福祉事業所の自主製品販売、東北の支援などたくさんブースや池田小学校のエイサーなどのステージも開催します。

当日皆様のお越しを心からお待ちしております。是非、遊びに来てください!!



1.17KOBEに灯りをInながた

来年は、阪神・淡路大震災から20年目を迎えます。

1月17日に新長田駅前広場にて、阪神・淡路大震災で亡くなられた方々への供養や思い出をふりかえり、ロウソクに灯りをともしてもらって追悼行事が開催されます。毎年大勢の方に来場いただき、地域の学校や幼稚園に協力して作ってもらったロウソクに灯りをともします。この追悼行事は皆様からの募金とたくさんのボランティアのご協力で開催されています。来年も是非会場までお越しください。



福祉体験授業

長田ボランティアセンターでは、区内の小中高等学校に「アイマスク体験」「車イス体験」等の福祉体験学習の事前授業を行っています。実際に障がいを持つ方からお話を聞いたり、アイマスクや車イスでの疑似体験を通して障がいを持つ方を身近に感じ理解を深めていく大変意味のある取り組みです。



使用済み切手募集

長田ボランティアセンターでは使用済みの切手を集めています。集まった切手は毎月1回ボランティアの方に来ていただいて整理をいただいています。

お手元に届いた手紙から、切手の部分(1cmの余白を残して)を切り取っていただきボランティアセンターまでお寄せください。